

神樹の窓



清明小学校だより
令和6年6月5日

第3.5号
オレンジ配信

□文責：土屋智則

第65回 運動会

今年度も、前日は雨模様。昨年度と同じで、前日準備（4～6年生が各係に分かれて、会場を整える作業）ができませんでした。テントや椅子、用具など、校庭に持ち出す寸前のところまで運んで、下校となりました。

翌朝は、6時から急ピッチでの会場づくり。職員だけでは人手が足りないので、PTA役員のみなさんにもお手伝いをいただき、運動会の準備を整えました。一人の力では、とても終わらない作業も、人手が増えるとあっという間です。有り難いことです。

高学年は、7:20に集合。係活動のある児童は、やる気満々。朝の作業で用具がほぼ並んでいるのを見て、Aさんは「教頭先生、用具ほとんど出てるから仕事がないよ・・・。」と。「まだ綱引きの綱が出ていないから、よろしくね。」と返しました。大人がやり過ぎてしまうのもいけないなと反省。その後、重い綱を係の仲間と協力して出してくれました。

運動会の開閉会式も、できるだけ子どもたちの活躍を増やす方向で計画。はじめの言葉や選手宣誓など、任された児童は責任を果たそうと真剣です。緊張しながらも、堂々とやりきりました。事前に打ち合せをしてきましたが、何度も作文を書き直したり、台詞や所作の練習をしたり、一生懸命な姿は、見ていて嬉しくなります。

本部で、アナウンスをしていると、隣で放送係が競技の紹介や実況中継をしています。こちらでも、担当の放送係の子どもたちが、緊張しながら頑張っていました。競技によっては、該当の学年の児童が競技紹介をします。アナウンスが終わると、会場から自然と拍手が起こります。会場の全員が、それぞれの子どもの活躍を大事に考えてくださっている証です。有り難いです。

運動会と言えば、全ての学年に共通する「短距離走」。一生懸命走りきる姿は素敵ですね。そんな短距離走の裏話。号砲は職員が鳴らしますが、スタート位置へ号砲セットを持っていくのは、係児童です。今年から運動会の係活動が始まった4年生が担当していました。ニコニコしながら、本部とスタート位置を行ったり来たり。なにやら嬉しそうに走り回っていたので、「がんばってるね。」と声をかけると、「今年から係だから。緊張するけど、責任を持ってちゃんとやりたいんです。」と言いながら、とても満足そうな表情で仕事をしていました。競技を楽しみにするのはもちろんですが、任された係の仕事にもやりがいを見いだして意欲的に取り組もうとする子どもたち。素敵な姿に、こちらからパワーをもらいます。

片付けの場面では、PTA役員だけではなく、応援に来てくださっていた保護者のみなさんにも手をかしていただき、短い時間で片づけることができました。ありがとうございました。

きっと、他にも素敵な姿が会場のあちこちであったのではないかと思います。多くの支えのもと、運動会が予定の期日に実施できたこと。子どもたちの頑張りが見えたこと。感謝です。

行事を通すことで、普段とはちょっと違う子どもたちの姿、内に秘めた思いが見えました。子どもたちの「もっとやりたい」「こんな風になりたい」という思いを、学校・家庭・地域で支えていきたいですね。

「**子どもを見る**」子どもがどんな思いを持って、何に一生懸命になっているのか。言動の向こう側にある子どもの思いは何なのか。この思いを、私たちが如何に感じ取って、表出する言葉や行動を見守ることができるか。その瞬間を的確に捉えて、私たちがそれを承認することができたなら、子どもたちは「もっと・もっと」と、その先を求めて挑戦できるのではないか。教師として、親として、先に生まれて経験を重ねてきた人生の先輩として、子どもたちを見守っていきたいと思うのです。

応援・ご協力、ありがとうございました。